

事業名		後期高齢者医療			事業コード	1108100	計画コード	8-1-1		
款	03	民生費		項	01	社会福祉費		目	10	後期高齢者医療費
所属名(部局・課)		健康部		保険年金課		担当名	年金後期高齢者医療担当			
施策		8-1	一人一人に応じた健康づくりの推進							

1. 事業の概要

事業の対象	75歳以上の方、および65歳から74歳までの方で一定の障害があると広域連合の認定を受けた方
意図・目的	高齢者が健康でいきいきとした生活を営めるようにする。
活動概要	健康診査を通じて生活習慣病を早期に発見することで、高齢者の健康の保持・増進を図る。

2. 事業の実績

	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① 健康診査受診率 (実施結果報告3月末)	%	36.0	37.9	35.9	40.0	40.0	40.0
	②							
	③							
	④							
	⑤							
費用	事業費	千円	564,590	591,569	629,615		663,354	不用額
	決算額	千円	552,870	580,564	619,864		9,751	
	財源内訳	千円	527,357	552,390	591,898		執行率	
	特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	25,513	28,174	27,966		98.5%	

成果の説明	○事業の状況			
	(1)被保険者の推移			
		R4年度	R5年度	伸び率
	被保険者数	7,830人	8,227人	5.07%
	※3月末人数			
	(2)一人当たり医療費の推移			
		R4年度	R5年度	伸び率
	一人当たり医療費	971,505円	981,378円	1.02%
	※主管課長会議資料より			
	(3)健康診査の受診状況			
	R4年度	R5年度	伸び率	
集団健診	529人	625人	18.15%	
個別健診	2,193人	2,110人	-3.78%	
合計	2,722人	2,735人	0.48%	
	R4年度	R5年度	伸び率	
人間ドック	48人	64人	33.33%	

3. 事業の課題

課題	健康診査未受診者の中には、疾病のため通院し、医師の指導のもと健康維持増進に努め、自身の健康状態を把握している場合も多いが、医療、健診ともに未受診で健康状態が不明な者もいる。健康状態不明者は必要な医療を受けることができず、重篤な疾患を発症する場合もあるため、今後も健診未受診者の減少を図る必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	健康診査を通じた健康増進について、今後も被保険者に受診券を個別発送することで意識啓発を図る。健診未受診者に対して受診勧奨通知を送付する。

事業名		専門職(栄養・口腔ケア)相談・訪問				事業コード	1108210	計画コード	8-1-2	
款	03	民生費		項	01	社会福祉費		目	10	後期高齢者医療費
所属名(部局・課)		健康部			保険年金課			担当名	年金後期高齢者医療担当	
施策		8-1	一人一人に応じた健康づくりの推進							

1. 事業の概要

事業の対象	・市内在住の後期高齢者医療被保険者の者で、フレイル及び生活習慣病の重症化のリスクを有すると認められる者。 ・介護予防の通いの場の利用者。
意図・目的	高齢者が継続的に健康で自立した生活を送ることが出来るようにする。
活動概要	自立した日常生活を営む高齢者へ、栄養管理と口腔ケアを連動させたアウトリーチ型支援による「専門職による相談や指導を受けるべき人」に確実に支援が行き渡る仕組みを構築し、介護予防と疾病等重症化予防の充実を図る。 また、介護予防の通いの場等へ医療専門職が訪問し健康相談や助言を行うことで、フレイルの前段階にいる市民についても健康意識の増進を図る。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	訪問調査件数	件	94	91	95	100	100	100	
②	通いの場等における健康相談実施回数	回	6	6	6	6	6	6	
③									
④									
⑤									
費用	予算額		千円	4,000	4,000	4,000		4,400	不用額
	決算額		千円	4,000	4,000	4,000		0	
	財源内訳	一般財源		千円	0	0		0	執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	4,000	4,000		4,000	100.0%

成果の説明	○ 実施状況	・415名に通知送付後、訪問のアポが取れた件数95件 ・訪問件数95件の内、プラン作成件数109件																		
		<table border="1"> <tr> <th>訪問理由</th> <th>栄養</th> <th>口腔</th> <th>両方</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>65</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>95</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>プラン数</th> <th>栄養プラン</th> <th>口腔プラン</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>79</td> <td>30</td> <td>109</td> </tr> </table> <p>※プランは訪問理由ごとに作成</p>	訪問理由	栄養	口腔	両方	合計	件数	65	16	14	95	プラン数	栄養プラン	口腔プラン	合計	件数	79	30	109
	訪問理由	栄養	口腔	両方	合計															
	件数	65	16	14	95															
	プラン数	栄養プラン	口腔プラン	合計																
件数	79	30	109																	
	・訪問件数95件の内、全3回訪問できた件数83件 (全3回訪問できた割合87.4%)																			
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>栄養</th> <th>口腔</th> <th>両方</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>途中中止</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>全3回訪問</td> <td>57</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>83</td> </tr> </table>		栄養	口腔	両方	合計	途中中止	8	4	0	12	全3回訪問	57	12	14	83				
	栄養	口腔	両方	合計																
途中中止	8	4	0	12																
全3回訪問	57	12	14	83																
	・通いの場の6事業所を訪問し、高齢者への質問票と介護予防のチェックリストを用いて健康相談を行った。(ポピュレーションアプローチ)その結果、フレイルの可能性のある人、独居老人の方など215人に健康への意識付けを行うことができた。																			
	○ ケアプランでアセスメント項目が改善した者の割合																			
	・栄養状態(低体重・過体重など)が改善した者の割合⇒35% 全3回訪問できた栄養プラン作成者71人のうち、アセスメント項目が改善した方は25人、悪化した方は16人、維持した方が30人となり、昨年比で改善が3%減少、悪化が5%増加、維持は2%減少となった。 改善:25人(35%) 悪化:16人(23%) 維持30人(42%)																			
	・摂食や咀嚼等の口腔機能低下が改善した者の割合⇒58% 全3回訪問できた口腔改善プラン作成者26人のうち、改善項目が多くみられた方は19人、悪化項目が多くみられた方は3人、維持項目が多くみられた方は4人となり、昨年比で改善が15%増加、悪化が14%減少し、維持が1%減少している。 改善:19人(73%) 悪化:3人(12%) 維持4人(15%)																			

3. 事業の課題

課題	自分自身の健康リスクを正しく把握していなかったり、自身には適さないメディアなどで得た健康情報を実施している場合がある。後期高齢者の中には、自分の症状などを適切に医療機関や歯科医院に伝えることが難しい方もいる。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	個別の健康状態に沿った健康相談や、各個人の生活スタイルや疾病に合わせた助言を提供する。 医療機関や歯科医院に対して症状などを適切に伝えられない方の同意を得たうえで、診療の一助となり得る情報を提供する。

事業名		健康増進センター管理運営			事業コード	1137001	計画コード	8-1-3
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
所属名(部局・課)		健康部		健康支援課		担当名	保健予防担当	
施策		8-1	一人一人に応じた健康づくりの推進					

1. 事業の概要

事業の対象	健康増進センター(建物)
意図・目的	市民の健康づくり等に関する事業を行う健康増進センター建物の適切な管理。
活動概要	清掃や設備点検等を専門業者に委託して実施することにより、健康増進センター建物を適切に管理し、市民等が安全かつ快適に利用することができる状態を維持している。

2. 事業の実績

	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 事故等発生件数	件	0	0	0	0	0	0	
	②								
	③								
	④								
	⑤								
費用	予算額		千円	8,622	7,284	11,072	13,001	不用額	
	決算額		千円	7,000	6,948	10,117		955	
	財源内訳	一般財源		千円	7,000	6,948		10,117	執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	91.4%

・清掃や設備点検等を専門業者に委託して適切に実施した結果、特段の事故等なく施設運営を行うことができている。

成果の説明

3. 事業の課題

課題	広沢複合施設の構成施設として、適切なセンター管理運営が行えるよう予算や業務委託内容を引き続き確認するとともに、長期的な修繕計画の作成について検討が必要。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	市民等が安全かつ快適に利用することができる状態を維持するために、特に乳幼児の安全が確保される状態を維持するよう運営をしていく。

事業名		成人保健			事業コード	1138002	計画コード	8-1-4
款	04	衛生費		項	01	保健衛生費		
所属名(部局・課)		健康部		健康支援課		担当名	健康づくり担当	
施策		8-1	一人一人に応じた健康づくりの推進					

1. 事業の概要

事業の対象	20歳以上の市民
意図・目的	疾病の早期発見・早期治療、生活習慣病が予防され、健康でいられるよう、一次予防の推進を図る。
活動概要	対象の市民に対し、30歳代健康診査、福祉健診、歯周疾患検診、各種がん検診(胃がん・乳がん・子宮がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん)、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診、健康手帳配布、健康相談、健康教育、未受診者対策等を実施する。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	集団健診実施回数	回	33	33	33	33	36	36	
②	がん検診受診者数	人	24,392	24,183	23,878	29,000	24,000	24,000	
③	健康教育・健康相談への参加延人数	人	2,180	2,455	1,480	2,500	1,500	1,500	
費用	事業費		予算額	千円	131,680	127,960	128,670	133,774	不用額
			決算額	千円	116,841	111,477	113,364		15,306
	財源内訳	一般財源		千円	110,612	108,047	110,907		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	6,229	3,430	2,457		88.1%

※③がん検診受診者数は、国保会計と一般会計の合計人数である。

1. 健康手帳の交付(40歳から74歳まで) 29人

2. 健康教育

事業名	実施回数(回)	参加延人数(人)
集団健診結果説明会 小グループ指導	57	568
国保集団健診結果説明 小グループ指導	31	356
集団健康教育「ヘルシーライフスタイル教室」	6	108
おとどけ講座「生活習慣病予防について」等	3	86
合計	97	1,118

※参加実人数22名

3. 健康相談

事業名	実施回数(回)	相談延人数(人)
ヘルスアップ相談(保健師相談)	9	192
ヘルスアップ相談(栄養相談)	9	45
窓口・電話相談・面接相談(※)		125
合計	18	362

(※)内訳

窓口 15件 (成人)
 電話 30件 (成人)
 電話 76件 (リスク改善)
 面談 4件 (リスク改善)
 【続きあり】

3. 事業の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> がんの早期発見・早期治療に向けて、がん検診等未受診者への受診勧奨への工夫が必要。 疾病の早期発見・早期治療のため、受診勧奨及び精密検査追跡、結果に基づく健康管理等の更なる推進が必要。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	子宮頸がん検診にHPV検査単独法の導入や、乳がん・子宮頸がん検診(集団健診)を新たに設ける等、がん検診の拡充を図るとともに、無料クーポン対象者広報・HP・ポスター等での周知や未受診者対策を強化する。 がん検診要精密検査となった人の精密検査受診率の向上を目指す。

4. 健康診査(全受診者)

区分			受診者数	がん検診受診率(※1)	区分	受診者数	30歳代	40歳以上	がん検診受診率(※1)		
健康診査(生保)	個別		82	/	乳がん検診(※3)	個別	680	60	620	13.6%	
	集団					集団	2,639	248	2,391		
	合計		82			合計	3,319	308	3,011		
30代健診			集団	179	がん検診	子宮頸がん検診	個別	868	/	9.1%	
肺がん検診	個別		3,422	15.2%			集団	2,213			3,081
	集団		3,377				合計	3,081			
	合計		6,799		がん検診合計	個別	10,060				
喀痰細胞診検査(肺がん検診受診者の内)	個別		61	/		集団	13,818				
	集団		53			合計	23,878				
	合計		114			菌周疾患検診	個別	105			
大腸がん検診	個別		3,028	14.3%	集団		34				
	集団		3,399		合計		321				
	合計		6,427			合計	355				
胃がん検診(X線・バリウム)	個別		144	X線のみ	肝炎ウイルス検査	個別	/				
	集団		1,476			合計	386				
	合計		1,620			3.6%	合計	386			
胃がん検診(内視鏡)	個別		885	X線と内視鏡の合計	骨粗しょう症検診	個別	/				
	集団		885			合計	386				
	合計		885			5.6%	合計	386			
認知症検診			集団	72							

(※1) がん検診受診率=全受診者数÷対象者数

(※2) 乳がん検診の受診者数は30歳代を含むが、受診率には国の算定基準が40歳以上のため、30歳代は含まない。

注) H28地域保健報告(H29報告分)から、がん検診対象者は全住民に変更。

5. がん検診受診率の国算定基準による集計(肺・大腸・胃・乳・子宮)

区分	受診者数(40~69歳)	がん検診受診率(%) (※3)	区分	受診者数	がん検診受診率(%) (※3)
肺がん検診(40~69歳)	個別	893	乳がん検診(40~69歳)	個別	527
	集団	2,128		集団	1,865
	合計	3,021		合計	2,392
大腸がん検診(40~69歳)	個別	878	子宮頸がん検診(20~69歳)	個別	788
	集団	2,207		集団	1,836
	合計	3,085		合計	2,624
胃がん検診(X線・内視鏡)(50~69歳)	個別	421	がん検診合計	個別	3,507
	集団	698		集団	8,734
	合計	1,119		合計	12,241

(※3) 国の算定基準に基づく受診率。()内は令和4年度県平均

(※4) 胃がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診受診率の算出方法

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)÷「当該年度の対象者数」×100

6. 令和5年度がん検診無料クーポン券事業実績

区分	子宮頸がん検診(無料クーポン券事業)	乳がん検診(無料クーポン券事業)
対象者数	2,947	2,874
クーポン券利用者数(受診者)	485	782
クーポン券利用率	16.5%	27.2%

7. がん検診要精密検査・精検受診率

区分	受診者数	精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	精検者数	精検受診者数	精検受診率		
				(令和5年度速報値)※		(令和4年度実績値)※				
肺がん検診	個別	3,422	97	2.8%	76	78.4%	95	79	83.2%	
	集団	3,377	108	3.2%	80	74.1%	88	65	73.9%	
	合計	6,799	205	3.0%	156	76.1%	183	144	78.7%	
大腸がん検診	個別	3,028	218	7.2%	150	68.8%	249	166	66.7%	
	集団	3,399	228	6.7%	152	66.7%	231	166	71.9%	
	合計	6,427	446	6.9%	302	67.7%	480	332	69.2%	
胃がん検診(X線・バリウム)	個別	144	3	2.1%	3	100.0%	6	6	100.0%	
	集団	1,476	18	1.2%	16	88.9%	26	21	80.8%	
	合計	1,620	21	1.3%	19	90.5%	32	27	84.4%	
胃がん検診(内視鏡)	個別	885	58	6.6%	55	94.8%	52	50	96.2%	
	集団	885	58	6.6%	55	94.8%	52	50	96.2%	
	合計	885	58	6.6%	55	94.8%	52	50	96.2%	
乳がん検診	個別	680	36	5.3%	31	86.1%	34	32	94.1%	
	集団	2,639	91	3.4%	68	74.7%	99	93	93.9%	
	合計	3,319	127	3.8%	99	78.0%	133	125	94.0%	
子宮頸がん検診	個別	868	18	2.1%	12	66.7%	19	14	73.7%	
	集団	2,213	39	1.8%	24	61.5%	44	37	84.1%	
	合計	3,081	57	1.9%	36	63.2%	63	51	81.0%	
前立腺がん検診	個別	1,033	58	5.6%	45	77.6%	83	74	89.2%	
	集団	714	58	8.1%	49	84.5%	49	41	83.7%	
	合計	1,747	116	6.6%	94	81.0%	132	115	87.1%	
肺・大・胃・乳・子		総計	22,131	914	4.1%	667	73.0%	943	729	77.3%
上記+前立腺		総計	23,878	1,030	4.3%	761	73.9%	1,075	844	78.5%

※令和4年度、令和5年度精検受診者数、精検受診率は、令和6年5月23日現在。

事業名		健康管理推進			事業コード	1138010	計画コード	8-1-5
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
所属名(部局・課)		健康部		健康支援課		担当名	健康づくり担当	
施策		8-1	一人一人に応じた健康づくりの推進					

1. 事業の概要

事業の対象	全市民
意図・目的	健全な食生活を実践することができる人を育て、市民が生涯にわたり健康で元気に暮らせるようにする。また、和光市健康づくり基本条例に基づき、健康づくりに関する重要事項を調査審議するため、市長の附属機関としてヘルスソーシャルキャピタル審議会を設置する。
活動概要	健康わこう21計画・和光市食育推進計画に基づき、地域の健康課題解決のための施策を推進する。生活習慣病の発症・重症化予防に資するため、ライフステージ・健康度に応じた取組や食育コンソーシアムを基盤とした地域ぐるみの取組、ヘルスサポーター養成講座を実施する。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
①	食育推進コンソーシアム会議	回	1	2	2	2	2	2		
②	ヘルスソーシャルキャピタル審議会	回	0	1	4	3	1	1		
③										
④										
⑤										
費用	事業費		千円	390	513	11,442		1,818	不用額	
	決算額		千円	64	345	10,324			1,118	
	財源内訳	一般財源		千円	64	345	7,651			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	2,673			90.2%

成果の説明	<p>1. 食育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民、関係団体、事業者、行政の関連部署が一体となって、地域に広く食育を浸透、推進することを目的に、平成29年9月に和光市食育推進コンソーシアム会議を発足した。令和5年6月に「和光市食育推進コンソーシアム」へと名称変更した。 ○令和5年度実施事業 和光市食育推進コンソーシアム会議 第1回：令和5年7月5日(水) 第2回：令和6年3月19日(火) 食育推進コンソーシアム構成員情報共有会：令和5年11月13日(月) ポスターや食育ホームページによる食育認定マークやヘルシー商品の情報発信。 健診結果説明会や健康相談、市内事業所等での情報発信「わこう食育推進店リーフレット」配布を実施。 市内スーパー店頭での活動。 食育マークによるヘルシー商品の推奨・2種類の減塩減糖レシピ配布を実施している。 毎月19日の減糖減塩レシピ配布と併せて試食提供を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月より中止し、令和5年2月より試食再開。 市内セブンイレブン全店、ファミリーマートで、野菜摂取啓発資材であるちょこっプラスの掲示。 和光市ホームページでの「食育」の情報伝達。 レシピ公開 計12回：減塩・減糖レシピ 毎月19日以降HPに公開。 広報「わこう」での「食育」の情報伝達：6月食育特集記事の掲載。 食育推進認定マークの紹介・わこう食育推進店の情報やQRコードによる市食育HPへの案内を掲載。 <p>2. 第2次健康わこう21計画・第三次和光市食育推進計画中間評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート調査実施：令和5年6月～8月 配布数：26,775件 有効回収数：11,494件 回収率：42.9% パブリックコメント：令和6年1月25日(木)～2月15日(木) 市民説明会 令和6年2月8日(木)、2月10日(土)
	【続きあり】

3. 事業の課題

課題	<p>国・県の各健康づくり計画・施策と連動した形で、市の施策展開を行う必要がある。</p> <p>国・県の計画策定年度に合わせ市の計画期間を短縮するとともに、次期策定時は一体的な計画となるよう健康づくりに係る計画を包含する。</p>
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	<p>計画に掲げた事業・取組について、進捗管理・評価を確実に実施し、地域の健康課題の解決を図る。</p>

3. ヘルスソーシャルキャピタル審議会

第1回: 令和5年5月11日(木)

第2回: 令和5年12月5日(火)書面開催

第3回: 令和6年1月15日(月)

第4回: 令和6年2月28日(水)

4. 健康フェア(わびあ夏まつりと同日開催)・・・令和5年7月29日(土)12:00～15:30

健康増進センター: 歩行姿勢・立ち上がり測定、血管年齢測定、頭部の健康チェック、熱中症予防啓発、
食育パネル展示、お薬相談

総合児童センター: 歯と口の健口クイズ・相談、食育ブース(1食分の野菜計量・ビンゴ)、
学校給食レシピ配布、赤ちゃん休憩室、子育て相談

5. こころの相談、電話・窓口等相談

こころの相談(精神科医及び臨床心理士) 16回 41人

電話相談 延べ222件 窓口・来所相談 延べ86件 その他(メール・手紙・ケース相談連絡等)延べ2件

合計310件(電話・窓口・来所・その他)

6. 自殺対策人材育成研修会

職員向け研修 1回(令和5年12月27日(水)実施) 参加31人

事業者向け研修 1回(令和6年1月26日(金)実施) 参加12人

「ゲートキーパー養成講座」

講師: 東京都健康長寿医療センター研究所 藤田 幸司 氏

7. 自殺対策計画市民アンケート調査

調査実施期間: 令和6年1月～2月

調査方法: はがき郵送によるWEB回答(二次元コード読み取り)

配布数: 64,979件 有効回収数: 10,974件 回収率17%

東京医科大学精神医学分野との協定に基づき実施

8. ヘルスサポーター養成講座 5日間実施

実施日: 令和5年9月9日、23日、30日、10月7日、21日 いずれも(土)

新規登録者数: 5人

事業名		健康マイレージ			事業コード	1138030	計画コード	8-1-6
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
所属名(部局・課)		健康部		健康支援課		担当名	健康づくり担当	
施策		8-1	一人一人に応じた健康づくりの推進					

1. 事業の概要

事業の対象	18歳以上の市民(高校生を除く)
意図・目的	健康長寿社会の実現を目指し、市民の健康づくり行動への動機づけ及び定着を促進することにより疾病予防・改善、将来的な医療費適正化を図る。
活動概要	埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加し、市内複数箇所に歩数計をかざすとポイント登録ができるタブレット等を設置。参加者に歩数計を配布し、歩数を登録。加えて、健康行動等市の独自ポイントを付加し、たまったポイントに応じてインセンティブを付与するもので、市民の健康づくり行動への動機づけ及び定着を促進することにより疾病予防・改善、将来的な医療費適正化を図る。

2. 事業の実績

	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① 事業参加者数	人	1,717	1,882	1,975	1,600	—	—
	② H30年度と比較し、BMI基準値以内の参加者割合の増加率	%	-5	-6	-8	-3	—	—
	③							
	④							
	⑤							
費用	事業費	千円	690	616	623		—	不用額
	決算額	千円	629	616	622			1
	財源内訳	千円	629	616	622			執行率
	特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	0	0	0			99.8%
成果の説明	<p>市民の自主的かつ継続的な健康づくり行動による疾病予防等を目的として、平成30年度より埼玉県コバトン健康マイレージ事業への共同参加のうえ実施している。広報での事業周知や参加者への体力別の2パターンの運動教室を実施した。事業参加者数は、現在はスマートフォンのみ新規受付となっており、前年度比+354名の参加者増となった。わこう健康マイレージは令和5年度で終了し、令和6年度からアプリ参加のコバトンALKOOマイレージとなるため、現参加者のコバトンALKOOマイレージ移行のためのアプリ操作説明会を開催した。</p> <p>(1) 参加者数 1,975人 ※令和6年3月時点 (参加方法の内訳) 歩数計 1,137人 アプリ 838人</p> <p>(2) コバトンALKOOマイレージアプリ操作説明会(ALKOO参加移行) 開催回数 2回(12/20, 2/27) 参加者計 51人</p>							

3. 事業の課題

課題	アプリによるマイレージ参加者が、総数中の半数以下と少ないため、スマートフォン利用者への新規参加への参加勧奨が必要である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	わこう健康マイレージは終了となり、令和6年度は新たな健康増進事業としてコバトンALKOOマイレージを実施するため、広報周知を図り参加者の増加を図る(令和6年度より「1138010 健康管理推進」に事業移管)。

事業名		予防接種			事業コード	1141001	計画コード	8-1-7		
款	04	衛生費		項	01	保健衛生費		目	02	予防費
所属名(部局・課)		健康部		健康支援課		担当名	保健予防担当			
施策		8-1	一人一人に応じた健康づくりの推進							

1. 事業の概要

事業の対象	生後2か月～27歳未満の者、成人男性及び高齢者
意図・目的	定期予防接種の積極的勧奨を行い、接種の機会を提供することで感染症が予防され、健康な生活を送ることができる。
活動概要	ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、ロタ、二種混合、不活化ポリオ、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、BCG、HPV、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザの予防接種の接種勧奨または周知をする。埼玉県医師会、朝霞地区医師会、埼玉県立小児医療センター等に業務委託し個別接種を実施する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① BCG接種者率	%	100	93	98	100	100	100
	② 麻しん風しん混合ワクチン接種率	%	98	95	94	100	100	100
	③ 高齢者肺炎球菌	%	28	25	28	35	—	—
	④							
	⑤							
費用	事業費	千円	311,461	329,326	352,022		351,069	不用額
	決算額	千円	260,112	263,659	261,744		90,278	
	財源内訳	千円	252,406	259,295	256,407		執行率	
	特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	7,706	4,364	5,337		74.4%	
成果の説明	<p>・MR2期と高齢者肺炎球菌は通知の発送者数を母数とし、BCGはR5年4月1日現在に1歳未満の者、MR1期はR5年4月1日現在に1歳～2歳未満の者を母数とした。</p> <p>・生年別の対象者(BCG・MR1期)については、転出入により数字が変動するものである。</p> <p>・BCG、麻しん風しん混合ワクチンの接種率は例年9割以上の接種率で推移している。転入者の、転入前の接種記録は市で管理されないため、未接種者として計上される。</p> <p>・里帰り先での接種等、償還払いした予防接種についても活動実績として計上しているため、医療業務委託料分と数字が異なる。</p> <p>・高齢者に対する肺炎球菌ワクチンについては、平成26年に定期接種に位置づけられ、接種の対象者を「65歳の高齢者等」として実施しつつ、それ以上の世代(70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳)についても接種機会を提供する目的で、経過措置を設けてきた。(第1クールはH26～H31、第2クールはR1～R5) 現状としては、すでに1クール目で接種を受けた者も多いため、2クール目の接種率は低下傾向にある。 なお、経過措置については令和5年度末で終了し、令和6年度からは65歳の方及び、60歳から64歳のうち心臓、腎臓、呼吸器等の内部疾患(身体障害者手帳1級相当)のある方のみが定期接種の対象となる。</p> <p>・風しんの追加的対策について(R6年度末まで) 【対象者】昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性(風しん罹患者は除く) 【実施内容】風しん抗体検査を採血により受け、風しん抗体値が十分でないことが判明した場合、風しん第5期予防接種を無料で接種できる。 【実施場所】住民健診や職域での健診、全国の医療機関</p>							
								【続きあり】

3. 事業の課題

課題	風しん抗体検査事業については、対象者へ受検を促す必要がある。 HPVワクチンのキャッチアップが令和6年度末までであるため、広く周知を行い接種を促進する必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	市ホームページ、個別通知案内文書の見やすさ・わかりやすさを強化し、接種率の維持・向上を目指す。また、感染症の発生、蔓延防止を図る。 令和6年度は風しんの追加的対策、HPVワクチンのキャッチアップ接種が最終年度となるため、風しん抗体検査の勧奨通知を未受検者へ個別通知発送する。また、転入者への追加発送も実施する。 また、HPVワクチン定期接種対象者への勧奨通知及びキャッチアップ対象者への接種勧奨通知を発送する。

予防接種の実績(医療業務委託料分)

定期予防接種

予防接種の種類	単価(10%)	接種件数	支出額(円)
B型肝炎	8,267	1,803	220,430,452
ロタリックス(R2.10.1~)	16,552	928	
ロタテック(R2.10.1~)	11,035	339	
ヒブ	10,384	2,425	
小児用肺炎球菌	13,750	2,433	
四種混合	12,980	2,633	
不活化ポリオ	11,825	0	
BCG	11,330	623	
日本脳炎(7歳6か月未満)	7,975	1,959	
日本脳炎(7歳6か月以上)	7,150	886	
麻しん風しん第1期	12,485	632	
麻しん風しん第2期	11,055	707	
麻しん単独	8,910	0	
風しん単独	8,921	0	
水痘	10,780	1,268	
二種混合第1期	7,260	0	
二種混合第2期	5,005	524	
HPV(サーバリックス)	16,775	5	
HPV(ガーダシル)	16,775	207	
HPV(シルガード9)(R5.4.1~)	29,700	968	
未接種予診料(小児)	3,300	55	
高齢者肺炎球菌	5,783	553	3,262,626
高齢者肺炎球菌(生保)	8,783	7	
未接種予診料(高齢者)	3,168	1	
高齢者インフルエンザ	3,725	6,521	24,987,069
高齢者インフルエンザ(生保)	5,225	126	
未接種予診料(高齢者)	3,168	12	

風しんの追加的対策(令和5年度支払い分)

予防接種の種類	件数	支出金額
風しん抗体検査	190	1,064,789
風しん第5期予防接種	34	344,828

合 計	250,089,764
-----	-------------

成果の説明(続き)

事業名		医療団体等支援			事業コード	1136004	計画コード	8-2-1
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
所属名(部局・課)		健康部		健康支援課		担当名	保健予防担当	
施策		8-2	地域との連携による保健・医療体制の充実					

1. 事業の概要

事業の対象	朝霞地区医師会、朝霞地区歯科医師会、朝霞地区看護専門学校、朝霞地区医療機関等
意図・目的	各機関の機能が充実することによって、市民が受ける医療サービスや4市の医療体制を向上させる(休日、夜間診療の実施)。
活動概要	4市の医療機関が輪番制で行う休日、夜間診療に対する補助金、医師会、歯科医師会、看護専門学校の運営費に対する補助金の支給及び大学医学部への寄附講座の設置。

2. 事業の実績

	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 小児救急 休日夜間診療 延日数	日	552	551	551	550	550	550	
	② 輪番制 休日夜間診療 延日数	日	437	437	439	440	440	440	
	③ 小児救急受診者数	人	13,471	20,123	20,129	18,000	18,000	18,000	
	④ 休日夜間受診者数	人	3,386	3,700	3,757	5,500	3,800	3,800	
	⑤								
費用	事業費	予算額	千円	94,908	77,683	13,336		13,351	不用額
		決算額	千円	94,905	77,580	13,334		2	
	財源内訳	一般財源	千円	23,342	20,070	13,334		執行率	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	71,563	57,510	0		100.0%	

成果の説明	<p>《朝霞地区医療団体支援について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝霞地区小児救急医療支援事業、朝霞地区在宅当番医輪番制、在宅当番医制、寄附講座を実施している。 ・朝霞地区小児救急医療支援事業、朝霞地区在宅当番医輪番制及び在宅当番医制は、予定日数どおり実施できており、一次救急・二次救急における受け入れ体制が維持できている。 ・寄附講座は1大学において実施し、朝霞地区第二次救急医療圏における小児医療・救急医療に携わる医師の育成及び確保と医療体制の充実を図った。
-------	---

3. 事業の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療へのニーズ増加への対応 ・朝霞地区の医療提供体制の確保
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞地区の医療人材確保・育成のため、継続して朝霞地区の医療団体支援を行う。

事業名		新型コロナウイルスワクチン住民接種			事業コード	1138040	計画コード	8-2-2
款	04	衛生費	項	01	健康衛生費	目	02	予防費
所属名(部局・課)		健康部		健康支援課		担当名	保健予防担当	
施策		8-2	地域との連携とによる保健・医療体制の充実					

1. 事業の概要

事業の対象	新型コロナウイルスワクチンの接種を受けることを希望する市民
意図・目的	新型コロナウイルスワクチンの接種を効率的・効果的に実施することにより、新型コロナウイルスの感染拡大防止、罹患した際の重症化予防等により、市民の健康と生命を守ることを目的とする。
活動概要	令和2年度から体制の整備を行い、令和3年度に開始した新型コロナウイルスワクチン接種については、政省令改正等により対象者や使用するワクチン、接種できる間隔等の変更が幾度となく生じているが、市民が適切に接種を受けることができるよう迅速に対応していた。 令和5年度には新しい追加接種として65歳以上高齢者、基礎疾患を有する方、医療従事者等を対象とした令和5年春開始接種を令和5年5月8日から令和5年9月19日までの間実施した。また、初回接種を完了した生後6か月以上のすべての方を対象とした新しい追加接種である令和5年秋開始接種を令和5年9月20日から令和6年3月31日までの間実施した。 令和3年2月17日から実施された新型コロナワクチンの特例臨時接種は令和6年3月31日をもって全て終了した。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	令和5年春開始接種(R5.5.8~R5.9.19)	人	—	—	11,278	—	—	—	
②	令和5年秋開始接種(R5.9.20~R6.3.31)	人	—	—	16,754	—	—	—	
③									
④									
⑤									
費用	事業費		予算額	千円	788,077	764,538	438,219	0	不用額
			決算額	千円	776,133	598,948	217,451		220,768
	財源内訳	一般財源		千円	0	0	0		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	776,133	598,948	217,451		49.6%
成果の説明	<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年春開始接種及び令和5年秋開始接種を市集団接種会場(旧保健センター)、市内医療機関等で実施した。 令和5年度も集団接種の実施やコールセンターやヘルプデスクの整備、接種券の送付、市集団接種会場における日時指定(前回接種を市集団接種で接種した65歳以上の人を対象)等の対応を行った。 市集団接種会場(旧保健センター)の運営は、経費を縮減するために住民の接種ニーズ等を踏まえて実施期間を限定して開設した。具体的には令和5年春開始接種については、令和5年5月18日から令和5年6月17日までの間に10回、令和5年秋開始接種では、令和5年10月12日から令和5年11月9日までの間に11回実施した。(当該期間中に市集団接種会場で接種した人数は11,419人。) 令和5年春開始接種、令和5年秋開始接種など新しい運用が開始される前には朝霞地区医師会和光支部や市内医療機関への情報提供や連携を密に図り、間違い接種の防止など混乱なく住民接種が実施されるように調整を行った。 令和6年3月31日をもって特例臨時接種が完全に終了することとなったことから、住民や医療機関への周知を行い、国から借用している備品の返却手続きなどを医療機関と連携しながら実施した。また、接種費用の請求事務が適切に完了するように周知を行った。 令和6年度以降に発生する医療廃棄物処理業務やシステム改修などを国費で実施できるように市予算と国庫補助金、国庫負担金の地方繰越を実施した。 <p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度予算のうち12,858,000円を令和6年度に繰越明許し、令和5年度事業として217,451,417円を実施。 								

3. 事業の課題

課題	令和6年度以降のB類疾病の定期接種化のために新しい制度設計を進める必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	特例臨時接種としての新型コロナワクチン住民接種は、令和6年3月31日をもって終了した。 令和6年度以降は、B類疾病の定期接種または任意接種として接種が実施されることとなる。

事業名		骨髄移植ドナー助成			事業コード	1141010	計画コード	8-2-3
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費			
所属名(部局・課)		健康部		健康支援課		担当名	保健予防担当	
施策		8-2	地域との連携による保健・医療体制の充実					

1. 事業の概要

事業の対象	ドナー休暇のない骨髄提供・末梢血管細胞提供者(骨髄ドナー)
意図・目的	骨髄・末梢血管細胞の提供を行った市民に対して助成することにより、ドナーの負担が軽減され、これまでドナー休暇制度等休業補償がないことを理由にドナー登録をせずにいた市民が登録ようになる。これにより市内のドナー登録者が増加し、ドナー候補者になる市民が増え、骨髄・末梢血管細胞移植の実施数の増加が期待できる。
活動概要	埼玉県が平成26年4月1日から、ドナー休暇がない骨髄等提供者に対する補助事業を「埼玉県骨髄移植ドナー助成費補助金交付要綱」により実施することを受けて、和光市では骨髄等の提供者の負担を軽減し、骨髄等の移植と市民のドナー登録の推進を図ることを目的に骨髄等の提供者に対し助成費を交付する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 骨髄提供者数	人	3	1	0	1	1	0	
	② 骨髄移植ドナー助成制度利用者数	人	2	1	0	1	1	1	
	③								
	④								
	⑤								
費用	予算額		千円	280	140	140	140	不用額	
	決算額		千円	280	140	0		140	
	財源内訳	一般財源		千円	140	70	0		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	140	70	0		0.0%
成果の説明	骨髄等の提供者の負担を軽減し、骨髄等の移植と市民のドナー登録の推進を図ることを目的に骨髄等の提供者に対し助成費を交付する。令和5年度は申請実績なし。								

3. 事業の課題

課題	当該骨髄提供者の勤務先、事業所がドナー休暇等を有しているか把握はできないため、これまでも広報、ホームページ、献血会場等で市民に制度の周知を図ってきたところだが、骨髄提供者数の安定的確保及び提供者の負担軽減を着実に推進するためにも、周知の機会のさらなる拡充等が求められる。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	より多くの善意による移植の実現とドナー登録者の増加を図るため、助成事業を継続実施していく必要がある。

事業名		国民年金業務			事業コード	1133001	計画コード	8-3-1
款	03	民生費	項	04	国民年金事務取扱費	目	01	国民年金事務取扱費
所属名(部局・課)		健康部		保険年金課		担当名	年金後期高齢者医療担当	
施策		8-3	国民健康保険及び国民年金の適正な運営					

1. 事業の概要

事業の対象	国民年金第1号被保険者
意図・目的	国の委任を受けて行う国民年金事務について、制度の周知と被保険者等が行う手続・窓口相談について、適切に対応していく。
活動概要	法定受託事務として市が行うべき事務を適切に実施する。具体的には、国民年金第1号被保険者資格の取得・喪失、免除申請、裁定請求などである。また、年金事務所等と連携し、国民年金を含めた社会保障制度の周知、窓口相談を実施する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 窓口相談件数	件	9,573	9,578	9,319	9,500	9,500	9,300	
	② 国民年金納付率	%	70.8	71.9	74.8	72.0	75.0	75.0	
	③								
	④								
	⑤								
費用	予算額		千円	11,875	10,980	9,962	13,313	不用額	
	決算額		千円	10,051	9,121	9,504		458	
	財源内訳	一般財源		千円	0	0		0	執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	10,051	9,121		9,504	95.4%

成果の説明	1 被保険者数				単位	人
	区分		3年度	4年度	5年度	
	第1号被保険者		9,239	9,136	9,140	
	第3号被保険者		5,865	5,619	5,378	
	任意加入被保険者		139	142	157	
	合計		15,243	14,897	14,675	
	※ 各年度3月末現在					
	2 免除・猶予・学生特例の状況				単位	人
	区分		3年度	4年度	5年度	
	法定免除		482	489	527	
全額免除		1,136	1,119	1,113		
一部免除	3/4免除	72	67	62		
	半額免除	66	49	62		
	1/4免除	31	42	29		
納付猶予		374	328	322		
学生納付特例		1,261	1,204	1,200		
合計		3,422	3,298	3,315		
※ 各年度3月末現在						

【続きあり】

3. 事業の課題

課題	法定受託事務として適切に対応しているが、制度改正等が随時実施されている。これらの改正等に適切に対応するとともに、職員の知識・能力の向上に努める必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	被保険者等が行う手続き及び相談について適切かつ親切に対応するため、職場内研修や担当内周知を行い職員の更なる知識の向上に努める。また、マイナポータルの利用が可能な手続きについて積極的に周知していく。

3 年金受給状況

単位 人

区 分	3年度	4年度	5年度
老齢基礎年金	13,866	13,995	14,155
老齢年金	51	43	33
5年年金	0	0	0
通算老齢年金	55	38	29
障害基礎年金	695	708	760
障害年金	10	10	10
遺族基礎年金	118	129	134
寡婦年金	0	2	2
合 計	14,795	14,925	15,123

※ 各年度3月末現在

事業名		国民健康保険趣旨普及活動			事業コード	2001011	計画コード	8-3-2
款	01	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
所属名(部局・課)		健康部		保険年金課		担当名	国民健康保険担当	
施策		8-3	国民健康保険及び国民年金の適正な運営					

1. 事業の概要

事業の対象	国民健康保険被保険者
意図・目的	国民健康保険制度に対する理解を深める。
活動概要	広報、ホームページ等を通して、国民健康保険制度の周知を図る。また、納税通知書の発行時は「国民健康保険税について」を、保険証の更新時は「国保でみんな元気」のパンフレットを全世帯に配布することで制度の理解を深める。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
①	国保制度パンフレット配布数	部	13,230	13,500	13,000	13,500	13,000	12,500		
②										
③										
④										
⑤										
費用	予算額		千円	1,592	878	855		1,206	不用額	
	決算額		千円	1,440	580	673		182		
	財源内訳	一般財源		千円	0	0		0	執行率	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	1,440	580		673	78.7%	

広報わこう、市HP等を活用して、情報提供を行った。制度の周知を目的として、「国保制度パンフレット(国保でみんな元気)」、「国民健康保険税について」などを作成し、全世帯へ送付するとともに、加入者への説明、高額療養費や療養費等説明の際の資料として有効に活用することができた。その他、窓口・電話・メールでの国保に関する相談・問い合わせについて、適切に対応した。

1 世帯数、加入者の状況 ※ 数値は年度平均 (単位:世帯 人 %)

区分	市の世帯	加入世帯	加入割合	市の人口	加入者数	加入割合	加入者の内訳	
							一般	退職
令和4年度	42,856	9,445	22.0	83,864	13,385	16.0	13,385	0
令和5年度	43,693	9,262	21.2	84,587	12,879	15.2	12,879	0
対前年度伸び率	1.95	△ 1.94	—	0.86	△ 3.78	—	△ 3.78	0.00

2 高齢者の内訳 ※ 数値は年度平均 (単位:人)

区分	前期高齢者(65歳~74歳)	(再掲)70歳以上	
		一般	現役並み所得者
令和4年度	4,739	2,574	389
令和5年度	4,401	2,409	351
対前年度伸び率	△ 7.13	△ 6.41	△ 9.77

3 被保険者増減内訳 (単位:人)

区分	増減内訳							計
	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢者離脱	その他		
令和5年度中増	1,200	2,438	29	39	2	131	3,839	
令和5年度中減	1,016	2,234	74	65	684	235	4,308	

3. 事業の課題

課題	令和6年度に保険証が廃止されることから、今後は様々な機会を捉え広く周知する必要がある。(令和6年12月2日にマイナ保険証へ移行する。)
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	引き続き、様々な機会を捉えて国保制度の周知・啓発を行う。

事業名		国民健康保険運営協議会運営			事業コード	2004001	計画コード	8-3-3
款	01	総務費	項	03	運営協議会費	目	01	運営協議会費
所属名(部局・課)		健康部		保険年金課		担当名	国民健康保険担当	
施策		8-3	国民健康保険及び国民年金の適正な運営					

1. 事業の概要

事業の対象	国民健康保険運営協議会委員
意図・目的	国民健康保険法の規定により、市長の諮問機関として国民健康保険事業の運営に関する事項を審議するために設置し、国民健康保険事業の円滑な運営を行う。
活動概要	被保険者を代表する委員5名、保険医又は保険薬剤師を代表する委員5名、公益を代表する委員5名で、国民健康保険運営協議会を構成し、市長の諮問機関として国民健康保険事業の運営に関する事項を審議する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 運営協議会開催(勉強会含む)	回	3	3	5	6	3	3	
	② 諮問件数	件	6	6	6	8	6	5	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費	予算額	千円	284	284	405		285	不用額
		決算額	千円	153	171	271		134	
	財源内訳	一般財源	千円	0	0	0		執行率	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	153	171	271		66.9%	
成果の説明	運営協議会を5回開催した。諮問事項については、9月補正、3月補正、R6当初予算、国保税条例の一部改正(税率・課税限度額の改正)、資格証明書の交付及び和光市国民健康保険ヘルスプランの策定についてを付議し、協議を行った。								

3. 事業の課題

課題	男女共同参画の推進の観点から、男女委員比率の均衡について配慮が求められている。(現状:女性4名、男性11名)
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	引き続き、国民健康保険事業の運営に関する事項を審議し、今後の安定的な国保財政の運営について検討を行っていく必要がある。

事業名		保健衛生普及活動			事業コード	2023001	計画コード	8-3-4			
款	05	保健事業費		項	01	保健事業費		目	01	保健衛生普及費	
所属名(部局・課)		健康部		保険年金課・健康支援課			担当名	国民健康保険担当 健康づくり担当			
施策		8-3	国民健康保険及び国民年金の適正な運営								

1. 事業の概要

事業の対象	国民健康保険被保険者等
意図・目的	国民健康保険被保険者各自の健康意識を高める。また、医療費が適正になっているようにする。
活動概要	医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知を送付、診療報酬明細書内容を点検、生活習慣病重症化予防対策事業を実施することで、医療費の適正化に努める。また、国民健康保険加入者の心身のリフレッシュのため、指定保養施設の宿泊料、浴場利用料の補助を実施する。生活習慣病重症化予防対策事業として、対象者の抽出、受診勧奨、保健指導を実施する。平成30年度からは健康マイレージ事業を実施し、健康行動への動機づけや疾病予防・改善を図る。なお、今後の医療費の状況等を把握し、新たな取組を検討、実施していく。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	診療報酬明細書内容点検・審査	件	219,712	224,648	223,531	207,000	207,000	207,000	
②	診療報酬明細書再審査	件	4,562	3,950	4,020	5,000	5,000	5,000	
③	保養・浴場施設補助利用	件	917	1,215	1,234	2,650	2,650	2,650	
④	一人当たり医療費の伸び率(対前年比)	%	5.8	6.9	0.6	2.0	2.0	2.0	
⑤									
費用	事業費	予算額	千円	19,209	38,981	31,150		11,979	不用額
		決算額	千円	15,854	25,067	12,718		18,432	
	財源内訳	一般財源	千円	2,898	15,582	1,863		執行率	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	12,956	9,485	10,855		40.8%	

成果の説明	<p>医療費適正化の取組として、レセプト点検の実施(毎月)、医療費通知の発送、ジェネリック医薬品差額通知の発送、糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施した。また、健康サポート訪問事業については、重複受診、頻回受診、重複投薬、多剤投薬を対象に、訪問指導を行った。さらに、市HPを活用し、適正受診、ジェネリック医薬品の利用を促進した。</p> <p>健康増進に関する取組として、わこう健康マイレージを実施し、自主的かつ継続的な健康行動への動機づけ並びに疾病予防を図った。わこう健康マイレージは今年度で終了し、次年度からアプリ参加のコバトンALKOOマイレージとなるため、現参加者のコバトンALKOOマイレージ移行のためのアプリ操作説明会を開催した。</p> <p>1 医療費通知 (1) 発送回数 6回 (2) 通知数 39,217件</p> <p>2 ジェネリック医薬品利用差額通知 (1) 通知回数 2回 (2) 通知数 1,715件</p> <p>3 糖尿病性腎症重症化予防対策事業(埼玉県共同事業) (1) 受診勧奨 通知数 26件 (2) 保健指導 参加者数 4人(継続支援0名含む)</p> <p>4 健康サポート(重複・頻回・多剤)訪問事業 (1) 訪問等による指導を行った人 20人</p> <p>5 わこう健康マイレージ (1) 参加者数 1,975人(うち国保資格者435人) ※令和6年3月末時点 (2) コバトンALKOOマイレージアプリ操作説明会(ALKOO参加移行) 開催回数 2回(12/20, 2/27) 参加者計 51人</p>
-------	---

3. 事業の課題

課題	糖尿病性腎症重症化予防対策事業の保健指導参加者数が減少しており、更なる参加勧奨の対策が必要である。一人当たり医療費の伸び率について、令和5年度はわずかな伸びとなったが、近年、被保険者数が減少する中、一人当たり医療費が増加していることから、今後の動向を注視するとともに、医療費の適正化の取組を引き続き行っていく必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	わこう健康マイレージは終了となるが、令和6年度は新たな健康増進事業としてコバトンALKOOマイレージを実施する。

事業名		特定健康診査・特定保健指導			事業コード	2023002	計画コード	8-3-5
款	05	保健事業費		項	02	特定健康診査等事業費		
所属名(部局・課)		健康部		健康支援課		担当名	健康づくり担当	
施策		8-3	国民健康保険及び国民年金の適正な運営					

1. 事業の概要

事業の対象	40歳以上の和光市国民健康保険被保険者
意図・目的	生活習慣病有病者とその予備群の減少及び重症化予防対策を推進し、医療費の適正化や国民健康保険加入者の健康の保持・増進を図る。
活動概要	特定健康診査対象者に国保特定健診を実施。特定健診結果で「動機づけ支援」「積極的支援」該当者に特定保健指導、特定保健指導該当外で生活習慣改善が必要と認められる人に結果説明会等での保健指導を実施する。また、未受診者に対する受診並びに利用勧奨を実施する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① 特定健診を含む集団健診実施回数	回	28	27	27	27	27	27
	②							
	③							
	④							
	⑤							
費用	事業費	千円	91,939	93,903	107,188		102,127	不用額
	財源内訳	千円	78,723	78,350	87,914			19,274
	一般財源	千円	4,059	0	12,840			執行率
	特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	74,664	78,350	75,074			82.0%

被保険者の健康の維持増進及び医療費適正化のため、特定健康診査の受診率及び特定保健指導の終了率の向上を図り、有所見者の早期発見及び生活習慣改善に向けた保健指導等を実施した。
 特定健康診査は、比較的受診者ニーズが安定している国保集団・集団健診でのキャンセル繰り上げを最大限実施し、受診希望に対応するとともに、AIを活用した特性に合わせた特定健診受診勧奨及び朝霞地区4市共同でのかかりつけ医と思われる医療機関への健診受診勧奨を実施した。また、特定保健指導については、健診時の特定保健指導分割実施、特定保健指導終了者へのインセンティブ配布並びに特定保健指導利用勧奨通知の送付等を実施し、特定保健指導の利用者並びに継続者の増加を図った。

【続きあり】

3. 事業の課題

課題	団塊世代の75歳到達により特定健診の継続受診者数の減少が見られ、新規受診者を増やすことで受診率向上を図ることが必要。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	特定健診は、AI活用及びかかりつけ医療機関名記載による受診勧奨通知を、送付内容・時期を検討のうえ継続。特定保健指導は、委託による実施は変わらないが利用率並びに継続率向上を目的としたデジタルナッジを利用した保健指導を実施していく。

1) 特定健康診査

① 受診状況

特定健康診査受診者数

(単位:人)

特定健康診査		令和3年度	令和4年度	令和5年度
個別		1,826	1,600	1,605
集団		2,367	2,392	2,332
再掲	集団健診	864	885	873
	国保集団健診	1,503	1,507	1,459
合計		4,193	3,992	3,937

特定健康診査受診率

(単位:人 %)

特定健康診査	令和3年度 (法定報告)	令和4年度 (法定報告)	令和5年度 (R6.5.27速報値)※1
対象者数※2	8,520	8,010	7,656
受診者数※2	3,804	3,560	3,527
受診率	44.6%	44.4%	46.1%

※1 国への法定報告の確定は通常、実施翌年度11月

※2 特定健診においては各年度の4月1日から3月31日まで継続して国保に加入している方が対象となる

② 特定健康診査40歳代自己負担金無料クーポン券

利用者数

(単位:人 %)

特定健康診査		令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者(当初発券者)		1,715	1,659	1,539
利用者数		462	423	373
再掲	集団健診	160	174	133
	国保集団健診	302	249	240
合計		462(26.9%)	423(25.5%)	373(24.2%)

2) 特定保健指導

特定保健指導終了者数・終了率

(単位:人 %)

区分	令和3年度開始/対象者数	令和4年度開始/対象者数	令和5年度開始/対象者数
	令和3年度終了	令和4年度終了	令和5年度終了見込み※
動機づけ支援	176(49.4%) / 356	143(46.7%) / 306	125(40.1%) / 312
積極的支援	53(36.3%) / 146	39(31.2%) / 125	44(31.4%) / 140
合計	229(45.6%) / 502	182(42.2%) / 431	169(37.4%) / 452

※R6.5.27現在